

平成28年度第2回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 平成28年6月30日(木)

2 開催場所 CTY 本社3階会議室

3 委員の出席

① 委員総数 10名

② 出席委員数 7名

③ 出席委員 小林慶太郎(四日市大学 教授)
三輪栄子(元四日市市消防団 サルビア分団 分団長)
服部洋明(メガネの隆明堂 店主)
藤井博光(ライブハウス フルハウス 店主)
出口 功(菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長)
笹岡邦清(暁石齋株式会社 取締役)
原真由美(民生委員)

④ 欠席委員 吉水英人((公財)四日市市文化まちづくり財団 副館長)
堀内あかね(菰野町観光協会)
山中奨太(四日市大学 環境情報学部 学生)

④ 放送事業者側出席者氏名 舘 克俊(放送制作部部長)
山本浩之(放送制作部課長)

4 議題

審議番組	番組名	ぶんきょうだより (四日市市文化協会提供)
	放送日	平成28年5月18日(水)、25日(水)
	放送時間	朝 8:10~8:20 夕 17:30~17:40

5 審議概要

エフエムよっかいち番組審議委員会 小林慶太郎委員長の挨拶に続き、弊社放送制作部部長 舘克俊より近況報告。また、番組表春号発行のご報告をさせて頂きました。その後、審議番組の視聴・合評が行われました。

7 審議内容

委員長：番組視聴の前に番組概要の説明をお願いします。

会社：四日市市文化協会は四日市の芸術・文化向上に寄与している団体で、現

在は加入団体130以上、およそ4600名が21部門のわたって活動
をしています。今後より一層の芸術・文化向上を目指すともに、更なる
会員の加入促進と後継者育成のために当番組を提供し広報しています。
ケーブルテレビにも同様の番組があり、内容はほぼ同じですが、ラジオ
版はオリジナルストーリーの構成となっています。主に四日市市文化協
会の広報、イベントの情報告知がメインとなっています。

番組聴取 番組名 ぶんきょうだより
(四日市市文化協会提供)
放送日 平成28年5月18日(水)、25日(水)
放送時間 朝 8:10~8:20 夕 17:30~17:40
番組規格 10分間の収録番組

委員長：みなさんのご意見をお願いします。

委員：四日市市文化協会の広報ということですが、この協会へ加入した際の
メリットは一体何でしょうか。具体的なことがあまりわかりません。

委員：こういう協会があるということを知っている四日市市民はお世辞に
も多いとは言えない中では、こういう形での広報活動には意義がある
と思います。

委員：あえて言えば協会の宣伝ばかりではなく、入会のメリット、デメリッ
トをモットアピールした方が良いと思います。

委員：具体的に入会金はいくらだとか、会費がどうなっているのかという聞
く側にとっての欲しい情報があまりないような気がします。

委員：今回の話題は読書会ということですが、そもそもこの読書会というの
はいったいどういうものなのですか？知っている人にはわかると思
うのですが、具体的な説明があればもっと良いと思います。

委員：この番組の内容で加入促進につながるのでしょうか。

委員：出演者はもう少し若い方にした方が良いのではないのでしょうか。現在
の方が悪いということではないのですが、若い方の新規加入を目指す
のであればその方がベストではないかと思えます。

委員：後継者の募集・育成を視野に入れた番組とするとちょっとポイントが
ずれているような気がします。もっと若い人向けの番組作りを望みま
す。

委員：地元四日市の知られざる作家さんのことを新たに知るきっかけにな
りました。

委員：四日市市文化協会の組織についてだとか、普段はどういう活動をどう
いうふうに行っているのかをもっと詳しく教えて欲しい。今回はたまた
まかもわかりませんが、少し具体性に乏しいと感じました。

委員：入会促進という意味ではもっと入会案内について詳しく伝えてもらっ

てもよいのではないのでしょうか。

委員：ケーブルテレビとの連携をしているということですが、どんなふうに連携しているのですか。番組内で紹介してもよいと思います。

委員：テレビとラジオという媒体の違いがあるので、同じ内容を伝えるにもよく考えなくてはなりません。映像で見せることが出来るテレビと音声しかないテレビでは情報の受け取る側に立って番組作りをしなければなりません。その意味ではラジオ版の方はちょっと大変だなというふうに感じました。

委員：ケーブルテレビの方のぶんきょうだよりは見たことがないので、なんとも言えませんが、こういう分野の広報番組としてはまずまずまとまっている方ではないのでしょうか。

委員：ケーブルテレビとラジオは放送日程も違うということなので、あえて同一内容にしなくてもよいのではないのでしょうか。

委員：ケーブルテレビの番組とラジオの番組が互いに媒体の違いを補完し合えるようなものになればもっと素晴らしいと思います。

委員：協会の広報やイベントの告知だけではなく、この番組自身が四日市の文化・芸術を発信するものになるよう、もう少し内容を検討してほしいと思います。

委員長：総じてこういう分野の番組としては、現在のもので精一杯なのかなと思います。ただ、ご意見にもあったように新規会員の加入促進や後継者募集・育成などを考えるのであれば、もう少し若い出演者を考えた方がよいと思います。また、協会への入会方法やその料金などもっと具体的にアピールするほうが実質的な効果があると思います。制作面ではケーブルテレビとの連携など、大変なことはたくさんあるとは思いますが、地元の文化・芸術の発展という重要なお手伝いです。今後に期待します。

会社：貴重なご意見をたくさんありがとうございました。まだまだご意見があろうかとは思いますが、ご意見やご感想などがございましたらその都度、ご教授いただきたく存じます。今日は1時間半にわたり議論を頂き、ありがとうございました。

次回開催日 平成28年8月31日（水）13：30～（予定）

8 審議会の答申などに対してとった処置

9 記事の公示

エフエムよっかいちホームページにて公示